

《研究課題名》

滋賀医科大学呼吸器外科における Tegafur/Uracil による肺がん術後化学療法症例の後ろ向き研究

《研究対象者》

2009年4月1日より2019年3月31日までに滋賀医科大学附属病院・呼吸器外科で、手術治療を受け、肺がん術後にテガフル/ウラシル配合剤(商品名:ユーエフティー)の投与を受けた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究課題名》 滋賀医科大学呼吸器外科における Tegafur/Uracil による肺がん術後化学療法症例の後ろ向き研究

《研究期間》 滋賀医科大学学長承認日から2022年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 呼吸器外科 岡本圭伍

(2) 研究の意義、目的について

近年、日々の外科診療においては多方面から長期生存の試みが実践されています。進歩する薬物療法もそのひとつで、周術期を通して患者さんや肺がんのステージに合った治療選択が行われています。今回の研究では、そういった患者さんの現況を把握し、副作用や処方された薬剤の効果、中断された患者さんの要因などを改めて評価することで、今後の術後の生存期間をより改善させていくことを目的とします。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

当院における電子カルテ情報(採血や放射線画像、生理学的検査、手術情報、病理所見、入院・外来時診療情報等)を利用し、統計学的処理を行い傾向などがあるか分析を行います。

《利用する情報の項目》

電子カルテ情報(年齢、性別、現病歴、既往歴、喫煙歴を含む生活歴、身長、体重、採血所見、CT画像所見、病理検査所見、肺機能検査所見、手術術式と術後合併症、抗がん剤の投与量と剤形、服薬期間、抗がん剤治療による副作用の種類とその程度、治療中の再発の有無、生存期間)

(4) 個人情報の取扱いについて

本研究を実施するには、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表し

オプトアウト
ます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用することについて停止することができます。停止を求められる場合には、2021年3月31日までに下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 呼吸器外科 岡本 圭伍

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2244

メールアドレス：okeigo@belle.shiga-med.ac.jp